

あい きゅう けんみんうんどう

愛救県民運動

愛媛の救急医療を守る県民運動

ちょっと待って!その症状、緊急ですか?

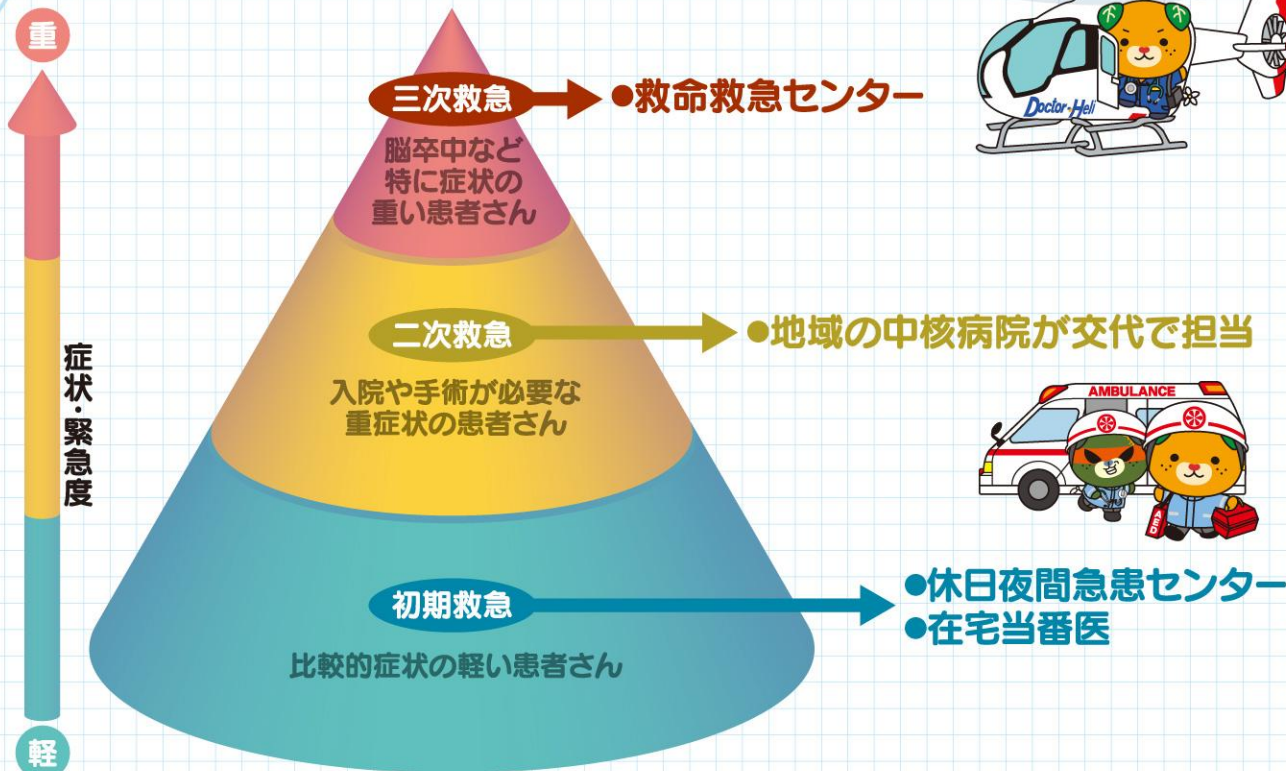
近年、休日や夜間、救急病院に軽症の患者さんが集中し、医師の負担が増えているほか、**安易な救急車の呼び出し**で出動回数が増加し、**重症な患者さんの搬送に困る**ケースも増加しています。

このままでは、住民の皆様**に適切な医療を提供できなくなる恐れ**があり、そうならないために「**愛媛の救急医療を守る県民運動(愛救県民運動)**」を実施しています。

これは医療機関や救急車の適切な利用を、皆さん一人ひとりに心がけていただく取り組みですので、ご協力をお願いします。



症状に応じた救急医療機関の役割分担



愛媛県の救急医療体制

普段からの3つの心がけ

- 1 日頃から「かかりつけ医」を持ちましょう。
- 2 健康診断や検診等により、病気の予防や早期発見に努めましょう。
- 3 家庭で薬を常備しましょう。

受診にあたっての3つの心がけ

- 1 なるべく医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
- 2 救急車で搬送されても、軽症の場合は、通常の受付順となる場合があることに留意しましょう。
- 3 休日や夜間で比較的症状の軽い方は、休日夜間急患センター(在宅当番医)を利用しましょう。



症状は軽いけれど、どうすれば...

休日や夜間に、どの病院に行けばよいか分からない場合には、えひめ医療情報ネット(インターネット)を参考にされるか、最寄りの消防署の音声案内サービスをご利用ください。

お子さんの急な病気やけがの場合は、**愛媛県子ども医療電話相談(#8000)**をご利用ください。



えひめ医療情報ネット